

令和6年12月20日

関係者の皆様

駿台観光&外語ビジネス専門学校
校長 豊田 基行

不正アクセスによる情報漏洩の可能性について（確報）

日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、令和6年10月18日（金）に発生した第三者からの不正アクセスによる情報漏洩の可能性については、法人の情報関連部門による緊急対策部門の主導のもと、個人情報保護委員会ならびに警察に報告を行うとともに、外部の専門機関に原因の各種調査・分析を依頼して情報漏洩の有無を確認するとともに、システムや情報の復旧等の対応を行ってまいりました。

その結果、一連の調査から、学校内の情報の一部が使用不能となりその情報には学校内の事務関連の情報の他、一部の学生の氏名などの個人情報が含まれていたことも判明しました。

よって、本学として、専門機関へ各種内部情報がリークサイトやダークウェブ等に掲載されたかどうか継続的な監視依頼を行い、本学情報の掲載や公開の有無について調査を実施いたしましたが、本学の情報の掲載や公開は確認されませんでした。

よって、個人情報保護委員会へネットワークやパソコン環境の調査、分析、ならびに継続的な監視の結果、情報漏洩の事実が確認されなかったこと、また再発防止策を講じたとして、12月16日付で確報を提出いたしましたことをご報告申し上げます。

本学では引き続き、外部の専門機関の指導を受け、ネットワーク環境を再構築、不正アクセス防止の強化、監視体制の更なる強化を図るなど、より高度な情報セキュリティ対策を行うとともに、併せて、教職員への情報セキュリティに関する教育と意識向上に努めてまいります。

以上